

Course number		U-LAS40 20045 LJ26					
Course title (and course title in English)		身体運動学 Kinesiology		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, KUSHIRO KEISUKE	
Group		Health and Sports		Field(Classification)		Health and Sports Sciences(Development)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group D	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Year/semesters		2026 • First semester		Number of credits		2	
Days and periods		Mon.2		Target year		All students	
Eligible students		For all majors		All students		Eligible students	
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)							
[Overview and purpose of the course]							
身体の動きがつくられ上達していくしくみについて学ぶ。 運動の指令は脳皮質でつくられ、脊髄を経由して筋を収縮させる。運動の結果は感覚器からフィードバックされ、中枢において評価と修正がなされる。これによりヒトは身体をうまく制御し、目的の行為を達成させている。本講義ではこれらの一連のハードウェア的要素について、神経科学、運動科学、スポーツ心理学の観点より解説する。さらに、一流スポーツ選手や指導者の取り組みに関するソフトウェア的要素にもふれ、運動パフォーマンスを向上させる方法についての知識と考えを深める。							
[Course objectives]							
本講義を通して、運動がうまくなるための幅広い知識習得を目指す。							
[Course schedule and contents]							
授業はフィードバックを含め全15回の実施を予定している。 毎回授業前半部では、一流スポーツ選手や指導者、競技団体における運動パフォーマンス向上の取り組みを紹介する。 授業後半部では、以下のトピックについて扱う。 ・ イントロダクション ・ 脳神経系の概略 ・ 脊髄から運動指令が出力されるしくみ ・ 脳において運動プログラムが生成されるしくみ ・ 小脳による運動学習機能 ・ 運動の知覚と眼球運動 ・ 空間知覚に関与する中枢神経系機構 ・ 運動学習に関する諸理論 (各項目につき1～2回扱う)							
Continue to 身体運動学(2) ↓ ↓ ↓							

身体運動学(2)

[Course requirements]

運動科学、スポーツ科学に興味のある者の履修を歓迎する。
履修希望者が多数の場合は、抽選により履修制限を行う。

[Evaluation methods and policy]

毎回の授業時に提出する課題の提出状況と内容にもとづき総合的に評価する。

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

前回までの内容を十分に理解しておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]